

【塩尻テニス協会のあゆみ】

- 昭和51年10月 「塩尻庭球協会」をテニス愛好者二十数名により発足する。団体登録（個人はいづれかの団体に加入する）のみにて発足する
- 52年3月 「長野県庭球協会」への加入が承認され、登録加盟する
- 53年8月 協会員による「塩尻庭球協会会長杯テニス大会」を開催し、以後毎年1回行う
- 55年4月 長野県庭球協会が、長野県テニス協会に改名されたことにもない「塩尻テニス協会」と改名する
- 56年10月 一般参加のできる「第1回塩尻市民テニス大会」を開催し、以後毎年1回行う
- 62年6月 「塩尻市民テニス教室」を開催し、以後平成10年まで毎年行う
- 63年3月 「塩尻市体育協会」への加入が承認され、登録加盟する
- 63年9月 「第2回長野県塩尻ときめきテニス大会」を長野県テニス協会公認大会、塩尻市体育協会の共催にて開催・主管する。以後毎年行う
- 平成元年10月 「1989塩尻テニス協会会長杯」団体戦を開催する。以後毎年行う
- 2年5月 「第5回長野県塩尻ときめきテニス大会」ミックスダブルスを、塩尻市市政施行30周年記念大会として開催・主管する
- 7年3月 長野県テニス協会の事務局を担当する

- 平成11年 5月 塩尻市市政施行40周年記念誌に、塩尻テニス協会沿革を掲載する
- 12年 5月 「第14回長野県塩尻テニス大会」の種目を、シングルス変更して主管する。以後毎年5月に開催する
- 13年 5月 「2001春 パナホーム長野中央カップテニス大会」を、ミックスタブルスにて岡谷市テニス協会と隔年にて開催する。平成15年より岡谷市テニス協会へ移管する
- 14年 9月 「第1回長野県塩尻テニス大会」ダブルスを、長野県テニス協会公認大会として主管する。以後毎年9月に開催する
- 14年12月 「第30回長野県室内テニス選手権大会」シングルスを主管する
- 15年11月 塩尻ジュニアテニス部：SJT（定員16名）を発足（塩尻市体育協会の後援を得て）する。毎週月・水・金の17:00～19:00を中心に、4月～10月は塩尻中央スポーツ公園コート、11月～3月は塩尻市体育館にて練習を行っている
- 16年 2月 「第31回長野県室内テニス選手権」ミックスタブルスを主管する
- 16年 5月 塩尻市スポーツ少年団：テニス部（定員90名）を発足（塩尻市体育協会の後援を得て）する。塩尻市内の小・中学校に通学しているジュニアを対象として、毎週土曜日の早朝、4～11月は塩尻中央スポーツ公園コート、12月～3月は塩尻市体育館・昭和電工体育館にて練習を行っている

- 平成16年 8月 塩尻ジュニアテニス部の「広陵中学校女子テニス部」が、6月に開催された第31回全国中学校テニス選手権大会（団体戦）の、長野県予選にて優勝。また、7月富山市において開催された北信越予選においても初優勝し、8月香川県高松市において開催された全国大会に初出場しました
- 17年 5月 「2005塩尻テニス協会長杯」団体戦を開催する。以後毎年2回（春・秋）行う
- 17年 8月 塩尻ジュニアテニス部の「広陵中学女子テニス部」が、第32回全国中学校テニス選手権大会（団体戦）の、長野県予選・北信越予選において、いずれも2年連続優勝を果たす。北信越代表として8月愛知県名古屋市東山テニスセンターにて開催された全国大会に出場する。1回戦を4-1（名古屋市立山田東中学校）にて初勝利する
- 17年12月 「第1回長野県やまびこ室内テニス大会」シングルスを、長野県テニス協会公認大会として主管する。以後毎年11月に開催する。平成22年より松本テニス協会へ移管する
- 18年12月 「第1回長野県やまびこ室内テニス大会」ダブルスを、長野県テニス協会公認大会として主管する。以後毎年12月に開催する
- 20年 9月 塩尻市体育協会主催の「塩尻市ファミリースポーツフェスティバル」テニス体験教室を主管する。以後毎年9月に開催する
- 21年 5月 「塩尻市テニス教室」を、高校生以上の、特に一般を対象にして（前期：5月～7月・後期：8月～10月の各10回・定員はそれぞれ50名）開催する。以後毎年行う